

大会名称: **第16回東北大学バスケットボールリーグ  
兼全日本大学バスケットボール選手権大会 東北地区予選会**

開催場所: **三郷町総合体育館**

試合区分: **No. 10B 2次リーグ** コミッショナー: **佐々木桂二**

期 日: **2015(H27)年10月10日(土)** 主審: **中村浩仁**

開始時間: **14:30** 副審: **富士将史**

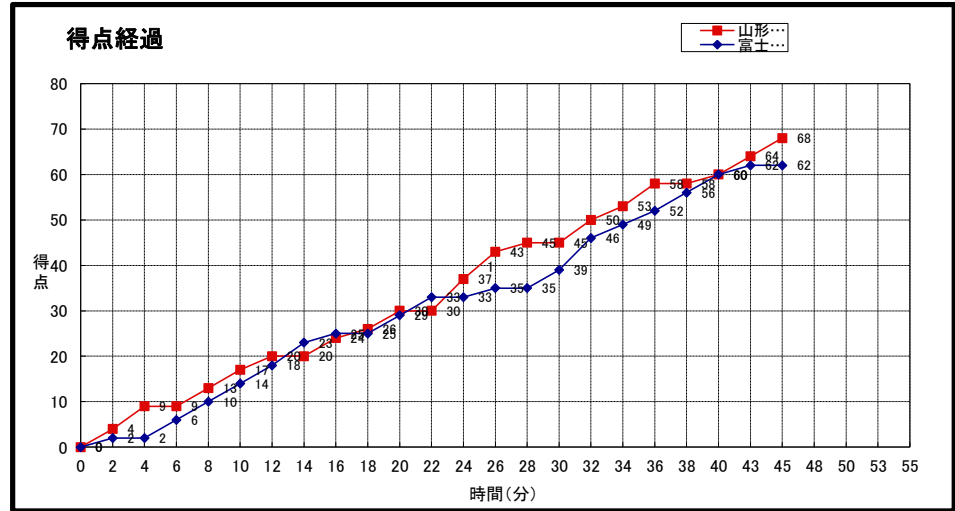
終了時間: **16:00**

<b>山形大学</b> (一部 2位)	○ <b>68</b>	● <b>62</b>	<b>富士大学</b> (一部 4位)
	17 -st1- 15 13 -2nd- 14 15 -3rd- 10 15 -4th- 21 8 -OT1- 2 -OT2- -OT3-		

山形大学		PTS	3P FG		2P FG		FT		PF	REBOUNDS			TO	AS	ST	BS	MIN
No.	S		M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT					
4	*宮崎わか	23	0	0	11	16	1	3	1	1	7	8	0	0	0	0	
5	澤田真由美	2	0	2	0	1	2	0	0	0	3	3	0	0	0	0	
6	梅本真帆	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7	斗沢千曉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8	*高橋美緒	7	0	1	3	7	1	3	1	4	5	9	0	1	0	0	
9	*吉田園佳	6	0	2	2	7	2	2	3	1	0	1	0	3	0	0	
10	*島本悠加	21	5	9	3	12	0	2	2	2	4	0	2	0	0	0	
11	*島貴姫夏	6	2	12	0	3	0	0	1	2	2	4	0	0	0	0	
12	高橋梨南	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
13	星野ひかり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
TEAM																	
合計		68	8	27	19	46	6	10	8	10	19	29	0	6	0	0	
			29.6%		41.3%		60.0%										

富士大学		PTS	3P FG		2P FG		FT		PF	REBOUNDS			TO	AS	ST	BS	MIN
No.	S		M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT					
35	*遠藤藍香	2	0	2	1	2	0	0	2	2	0	2	0	3	0	0	
1	佐藤凜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2	*佐々木桃子	6	0	0	3	5	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	
5	斎藤智美	6	0	0	3	4	0	1	0	1	4	5	0	1	0	0	
7	佐藤心	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
10	矢内理湖	2	0	0	1	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	
12	大川礼乃	2	0	1	1	3	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	
18	松田有紀	15	4	9	1	2	1	2	0	1	2	3	0	0	0	0	
19	*小田原未歩	8	1	1	2	7	1	2	5	1	3	4	0	0	0	0	
20	三浦美穂	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
22	齋藤ひかり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
23	佐々木彩	4	0	0	2	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
24	*渋谷日和	13	3	10	1	8	2	2	0	2	2	0	0	0	0	0	
27	杉澤玲奈	2	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	
33	*池田美央	2	0	2	1	3	0	0	3	2	6	8	0	0	0	0	
TEAM																	
合計		62	8	25	17	44	4	7	15	10	23	33	0	10	0	0	
			32.0%		38.6%		57.1%										

PST: ポイント F: フィールドゴール T: ターンオーバー MIN: 出場時間  
M: 成功 3P: 3ポイントシュート OR: オフenseリバウンド AS: アシスト S: スコア  
A: 試投 2P: 2ポイントシュート DR: ディフェンスリバウンド ST: スタイール  
%: シュート率 FT: フリースロー TOT: トータルリバウンド BS: フロッキング



**ゲームレポート**

○第一ピリオド 序盤は山形大が連続得点で先行する展開。富士大もドライブを中心に攻撃を仕掛けるが、ターンオーバーが目立ちなかなかリズムに乗れない。しかし山形大にもミスが多くなり、その間に富士大はミドルシュートなどで加点し追いつく。その後、山形大は#10島本ドライブ、富士大は#24渋谷の3Pなどで得点し、17-15山形大2点リードで第1ピリオド終了。

○第二ピリオド 開始直後、山形大#12高橋、富士大#19小田原がともに3Pを決める立ち上がり。富士大は激しいディフェンスで山形大に苦しいシュートを打たせる。そのリバウンドを確実に拾い得点につなげていくと、開始5分で23-22と逆転に成功する。その後は一進一退の攻防、30-29と山形大が1点リードで前半終了。

○第三ピリオド 富士大は、ピリオド開始早々#24渋谷の3Pで逆転に成功する。対する山形大は#4宮崎のドライブ、#10島本の3Pで流れを引き戻し、ピリオド中盤に再び逆転し、その後も主導権を握ったままゲームを進める。終盤、富士大は#2佐々木のシュートを中心に加点し、6点差まで差を縮め、45-36と山形大リードで第3ピリオドを終える。

○第四ピリオド 富士大は、#18松田の連続得点で加点する。一気に流れが富士大に傾きそうな場面を、山形大は積極的なオフェンスリバウンド、#4宮崎のバスケットカウントで効果的な場面で得点する。富士大はゾーンDF、マンツーマンDFを切り替えアグレッシブな守備から攻撃へと繋げる。2点差のまま試合終盤、富士大は#24渋谷の果敢なドライブでついに同点とする。その後同点のまま試合は進み、ゲームは延長戦へと突入する。

○延長 延長戦は、富士大#35のミドルシュートから幕を開ける。しかし、山形大は落ち着いた組み立てからハーフコートOFで得点を重ねる。その後、山形大はしっかりと点差を守り抜き、68-62で試合を締めくり、勝利を収めた。

○試合のまとめ 試合は、開始直後から一進一退の攻防を繰り返す展開となり、息詰まる試合運びとなった。主導権は山形大が握ってゲームを進めるものの、富士大は#35遠藤を中心にした果敢なDF、#23佐々木を起点にしたOFで食らいつき、一時は10点以上あった差を着実に縮め、試合は延長戦へと突入する。延長戦は、同点に持ち込んだ富士大が優勢かと思われたが、山形大がしっかりとゲームを組み立て、握った主導権を渡すことなく、68-62で2次リーグ初勝利を収めた。

担当者: ( )

東北大学バスケットボール連盟